

広 報

とままえ

発行／北海道苫前町 編集／企画振興課広報広聴係



風かおる
人が輝き
躍動するまち

No.532
2005

12



まちの人口

人口	／4,115人
男	／1,940人
女	／2,175人
世帯数	／1,749世帯
(10月31日現在)	

ウインズ
古丹別バレーボール少年団「古丹別WINDS」
今年、この少年団の活躍がめざましい
なかまど杯第11回北海道小学生バレーボール大会で、
留萌管内初となる準優勝
道新カップ道北大会でも準優勝に輝き、
1月の全道大会(江別市)出場を決めている
出場部門は、強豪がひしめく男子(男女混合)の部
6年生主体のチームで、「これまでで最強!」と
監督、コーチ陣や保護者の期待も膨らむ
子どもたちは、今チーム最後の大会に備え
日々猛練習に汗を流している
がんばれ!古丹別WINDS!

苫前町表彰式

平成十七年度苫前町表彰式が、十一月三日「文化の日」に合わせ「とままえ温泉ふわっと」で挙行され、功労、勤続において九名を表彰し、九名及び二団体へ感謝状が贈られた。

本町の発展の礎となられ、各分野においてご尽力された受賞者の方々に、心からの賞賛と感謝の言葉を町民の皆様とともに捧げ、祝福申し上げます。

苫前町表彰は、政治、経済、教育、文化、スポーツ、福祉などの各分野で功績のあつた方々をはじめ、永年勤続者で業務に精励された方、多額の寄付をされた個人や団体などを表彰するもの。表彰式では、森町長から「本町の発展と振興のため、献身的にご努力された方や善意を寄せられた方々が、数多くおられることは、喜ばしいことであり、新たな発展へ強い決意をしたところです」と受賞者を労い、表彰状並びに感謝状を贈呈した。



今年度の表彰は、自治及び産業における功労者三名と自治、防災、納税関係での永年勤続者に六名に、感謝状は一般寄附者九名・二団体に授与。また、過日町内に八十年以上在住し家業等を通じて町の発展に貢献した高齢者二十三名に對し、各家庭を訪問し感謝状及び記念品を贈り、その功績をねぎらった。

受賞者を代表し小野善市さんからは「感謝の気持ちを忘れず、今後町の発展のため微力ながら、尽くして行きたい」と感謝の言葉を述べられた。



式辞を述べる森町長

受賞者は、次のとおりです。
(敬称略)

功労表彰

自治功労者



小野 善市(69才)〓苫前
苫前町選挙管理委員会委員として十二年余の永きに亘り、選挙事務の管理、適正執行に貢献された。



産業功労者
横野 誠治(66才)〓苫前
昭和三十四年、苫前漁業協同組合に勤務、以来四十年間に亘り漁

業振興に尽力し、昭和六十二年からは参事の要職にあつて漁協運営に専心、本町漁業発展に貢献された。



竹内 良一(64才)〓苫前
昭和三十七年、苫前漁業協同組合に勤務、以来四十年余に亘り漁業振興に尽力し、平成十二年からは参事の要職にあつて漁協運営に専心、本町漁業発展に貢献された。

永年勤続表彰

(自治関係)

駐在員五年以上
伊勢 文雄(69才)〓上平
交通安全指導員二十年以上
笹森 武(68才)〓力昼



勤続表彰を受ける受賞者たち

(防災関係)

消防団員二十年以上
林 道行(65才)〓古丹別
消防団員二十年以上
川村 博明(46才)〓苫前
計良 隆之(41才)〓古丹別

(納税関係)

納税貯蓄組合長十年以上
佐藤 勉(53才)〓力昼

感謝状

寄附

伊藤妙子、伊藤ハマエ、加藤富雄、加藤ヤチヨ〓古丹別、小泉則雄、斉藤長蔵、半澤武、谷キミ、横内靖子〓苫前(有)エフケードラック〓羽幌町、伊藤組土建(株)〓札幌市

町内在住八十年以上
苫前〓加藤ヨシエ、伊藤市蔵、矢田みつ、三浦吉美、福田重行、香川〓十川猛、十川ソノ、丹羽利子、栄浜〓今野榮子、只石キミエ、小川〓小澤タカ子、中山仁幸、九重〓西川セツ、古丹別〓伊藤義則、菅野アサ子、鎌田節子、力昼〓坂本正義、午来登百江、年代ヒデ、岩見〓伊藤キヌ、旭〓岡田リツ、岩田吉雄、東川〓平井金太郎

振興、功勞の受賞者を祝う



苫前町文化協会（会長＝中野吉晴氏）並びに苫前町体育協会（会長＝渡部一男氏）は、十一月十八日町公民館で「表彰と交流の集い」を開催し、文化や体育の振興に寄与された方々を表彰し、各協会加盟の団体会員らとともに受賞を祝った。

受賞された方々は次のとおり。

文化協会表彰

文化功勞賞

森 晃一（字九重 70才）
平成四年町花木会に入会。緑化事業の普及推進にあたり、育苗技術を会員に普及させる研修事業に尽力。平成六年度から八年間、文化協会会長を歴任。

松田 敏夫（字古丹別 64才）

苫前町くま獅子保存会発足時から会員として、会の発展に寄与。同少年団結成時には、舞の指導者として町指定無形文化財の継承に尽力。



文化協会表彰受賞者

文化振興賞

白府 正志（字古丹別 40才）

昭和58年苫前北斗歌留多クラブに入会。全道大会等へ積極的に参加。同クラブ理事として運営に尽力し、若手会員の模範として活躍。

体育協会スポーツ表彰

スポーツ功勞賞

平田 日出男（字古丹別 56才）

昭和五十六年度から民間人初の体育協会事務局長に就任し、副会長を歴任。スポーツ振興に尽力するとともに、スキー連盟でも教育部長、副会長を歴任。

石橋 健（札幌市 75才）

平成四年、体育協会会長に就任。霧立峠下りマラソン大会などスポーツ振興に尽力。町テニス協会会長を歴任、テニスの普及と育成に尽力。

スポーツ奨励賞

星 大喜 苫前中学校三年生

平成十七年度B&Gスポーツ大会北海道大会個人戦中学生の部で、準優勝。同大会の団体戦でも大将として、第三位入賞。

苫前町剣道連盟チーム

先鋒＝伊藤 匠 次峰＝坂川さゆみ
中堅＝猪股祐哉 副将＝五十嵐雄大
大将＝星 大喜
補欠＝小澤悠哉 坂川薫子

平成十七年度B&Gスポーツ大会北海道大会団体戦で、第三位入賞。

古丹別WINDS

（古丹別バレーボール少年団）
ななかまど杯第十一回北海道小学生バレーボール大会で、留萌管内初の準優勝。第二十五回道新力ツプ北海道小学生バレーボール大会道北大大会準優勝。

「文芸」

苫前町文芸と語る会

（短歌）

すでに冬すずしき夏のアカシアの花びらのごとく雪片が舞ふ
古丹別 住吉 美恵

ざわざわと野辺に尾花の穂が揺るる「魔王」の森と行くがごとくに
古丹別 大矢根亮子

年の瀬の慌ただしさが海からの風吹く浜の沸点となる
栄 浜 横内 弘子

朝刊を開けば事件多き世やひたすら祈る平和な里を
長 島 水谷 露子

霜月の満月仰ぐ足元のシャーベットの雪は光りて
古丹別 木幡とく子

（俳句）

氷雨中 言舎へ急ぐ のたり牛
古丹別 林 千代美

峡の街 錦の山に 雪が舞ふ
古丹別 桑 風

（文責・大矢根）

川 柳

友が来て 困う庭木の 暖かさ
古丹別 運上 吉雄

老い二人 先祖に祈り 今日を生き
古丹別 宮本 貞博

逢う度に 心にくれる 孫の笑み
古丹別 斎数 範章

黄金の 稲穂に礼儀 重さ知り
古丹別 関 武

湯タンポに どてら出番の 灯油高
古丹別 鎌田 信夫

（文責・鎌田）

救命胴衣着用推進モデル漁協へ

第二回海難防止講習会及び指導会議開催

北るもい漁協（今隆組合長）では、海難防止委員を選定し漁業者の救命胴衣着用義務付ける取り組みが認められ、十一月四日第二回海難防止講習会及び指導



海上保安部からモデル漁協認証を受けとる今組合長（写真右から4人目）

会議の席上、留萌海上保安部より救命胴衣着用推進モデル漁協認証が手渡された。今組合長からは「昨年の事故から一年。道内では海難事故が多発。常に安全操業を心がけ、新年を無事故・豊漁で迎えたい」と海難事故の防止を呼びかけた。

講習会では、留萌海上保安部の船木次長から、危険要因の回避する危険予知について説明され、道漁船海難防止・水難救済センター古間木事務局長からは、海難事故の状況が報告され、参加者は事故防止に向けた注意事項を確認していた。

十月八日創立三十年を迎えた岩見親和会が、会員並びに関係者三十名が出席し、記念式典を挙行した。

同会は、初代会長となる故伊藤國光氏が、高齢者の親睦を図ろうと、地域に呼びかけ設立。当時、農業従事者も多く、活動が進まない状況であったが、現在では、年一回の湯治旅行や研修会を開催し、会館や神社の清掃活動も行つた。

一笑一若！三〇年の歴史祝つ 岩見親和会創立30周年記念式典



会話も弾む祝賀会

式典では、丹羽正己会長から「親しみあい、和をつくる三十年の足跡を継承し、会員一同がんばりましょう」と式辞を述べ、歴代会長十四名に対し、感謝状を贈つた。祝賀会では、花井忠昭氏から「一笑一若、ひとつ笑うごとにひとつ若返る。笑いな絶えない活動を続けてほしい」と祝辞が述べられ、会員は楽しい思い出を語っていた。

剣連四〇周年記念 少年剣士竹刀に集中！



個人戦中学生の部。大人顔負けの俊敏な動きで観衆を圧倒していた。

創立四十周年を迎えた苫前町剣道連盟（会長三上敏行）は、十一月二十日苫前小学校体育館において、第31回平井杯旗争奪大会とライオンズクラブ旗争奪大会を開催。少年少女剣士十名が参加し、日頃の稽古の成果を発揮するとともに、試合前に行われた昇級審査において、審査に臨む八名全員が昇級を果たした。

大会は、小学四年以下、五・六年、中学生の各部で競われる平井杯と東西の団体戦によるライオンズクラブ旗争奪戦が行われ、坂川さゆみ（苦小四）、猪股祐哉（苦小六）、星大喜（苦中三）が個人戦を制し、団体戦は二勝一敗二引き分けで東軍が優勝した。

ヤルンジャー匠楽校

授業見学とともに給食体験

十月二十五日ヤルンジャー企画古丹別小学校の授業参観と給食体験が行われ、町内高齢者十一名が参加し、児童の学校生活を見学するとともに始めての給食を児童とともに味わった。

高齢者は、授業参観の前に中山康彦校長から「大正・昭和・平成と時代をつくられた皆様から知恵と工夫を伝えてほしい」と高齢者への願いとともに、現在の教室の様子と教育方針が説明され、各六年年の授業風景を見学。各教室には、教壇がないことや児童数が少ないことに、



児童らと給食を体験する高齢者。なお、この体験は11月2日苫前小学校でも行われた。

昔との違いを感じ、子どもの頃の生活を思い浮かべていた。

また高齢者は、給食体験で三年生七名と食事をとり、児童の間に座り、好きなものや普段の生活の様子を会話しながら、楽しい時間となっていた。

いつも働いてくれて、ありがとう

苫前保育園、勤労感謝で職場訪問

十一月二十二日苫前保育園では、「勤労感謝の日」にちなみ、藤組園児十六名が、役場、消防



感謝のこぼしを読み上げる園児小島武くんと花束を贈呈する鎌田歩ちゃん

郵便局、駐在所、信金、漁協を訪れ、日頃の仕事に対し、感謝の言葉を送った。

消防苫前支署では、小島武くんが「いつも火災から守ってくれてありがとう」とお礼の言葉が読み上げられ、鎌田歩ちゃんから川森光治支署長へ花束が贈られた。

川森支署長からは「みんな一生懸命頑張っている姿をいつも見ています。これからも元気で火に気をつけて、頑張ってください」と、お礼の言葉とともにお土産が贈られた。

鮭トバづくりにも挑戦!



成人講座「鮭トバづくり」が11月22日町公民館で開催され、お正月に向けて自家製の鮭トバを作ろうと腕自慢の男性や主婦ら16名が参加。用意された鮭を三枚におろし、砂糖、塩、味の素で味付けし、

各家庭で1日半漬け込んだあと、1か月程度軒下などで干すもの。参加者は「興味はあったが、作り方が分からず、初めて挑戦します」と鮭のさばき方や味付けについて、真剣に聞き入っていた。

作り方

前処理 頭、内臓、ヒレを取り除く。

裁割 三枚におろし、ハラス部分も切り落とし

縦に切れ目を入れる。

乾燥の際、掛けるために

尾部は 切り落とさない。

水洗い

魚の重量を量り調味料の計算

魚の重量(kg)に対し、砂糖7%、

塩3%、グルソー(味の素)0.5%

調味料漬け込み

28時間位漬け込み、こまめに

手返しをする。

魚から水分が出てくるが、捨てない。

水洗い

表面に付いた調味料を落とす。

水切り

風乾：1ヶ月くらい風通しの良い所に干す。



平成十七年度社会教育功労者表彰に、苫前町女性団体連絡協議会長の林千代美さん(70才、古丹別)が選出され、十二月五日東京都内ホテルにおいて表彰状が授与された。

社会教育功労・林千代美さん 文部科学大臣表彰

林さんは、昭和三十八年に古丹別婦人会に入会后、様々な活動に積極的に参加し、昭和五十九年には会長に就任。地域振興に向けたボランティア活動や学習行動を展開し、老人福祉施設への慰問、公共施設への清掃活動や清掃用具の寄贈を実践し、青少年の健全育成事業にも積極的に参加した。

また、平成元年からは町女性団体連絡協議会の会長を務め、留萌管内女性団体連絡協議会の会長、北海道女性団体連絡協議

会理事も歴任。全道に活動の場を広げるとともに、昭和五十九年から町社会教育委員となり、平成八年には女性初となる社会教育委員長に就任。自ら行動するその姿勢は、女性活動のみならず、地域社会全般における教育活動に取り組むなど、社会教育の振興に大きく寄与された。受章の喜びとともに林さんは「周りの皆様に支えられて、ここまで来れました。これからも、自分にできることは、協力していきたい」と語った。

林さんは、このほか苫前消費者協会長も務め、九月にその功績が認められ、北海道社会貢献賞も受賞している。

ファイヤー通信

この時期は、暖房器具などの使用も多くなり、火災が多く発生しております。

また、歳末の繁忙期を迎え、火気取扱い使用量が増加し、取扱いの不注意不始末で火災が多発していることから、消防では歳末特別警戒を実施します。

町民一人ひとりが火災を出さないよう火気を取扱いには、十分注意しましょう。



消火器等の悪質な訪問販売による被害が多発しています!

消防・役場では軒旋等は一切行っておりませんので、悪質な訪問販売には十分注意して下さい。



冬は火災のシーズン!

歳末特別警戒実施

実施期間 12月25日から12月31日まで
夜間に消防団員が消防車両にて警戒に回ります。

火事・救急は119番!

北留萌消防組合消防署 苫前支署 64-2321
古丹別支署 65-4119

見て・体験まるごと楽しい！ 公民館・図書室フェスティバル



十一月三日から四日間公民館を会場に公民館フェスティバル並びに図書室フェスティバルが開催され、述べ八百名もの来場者が訪れ、各種サークルなどの町民作品を見学するとともに、ミニシアターや人形劇、陶芸体験など公民館活動を体験した。

展示作品には、絵画や写真、パッチワーク、陶芸、児童生徒作品などに十九団体六個人から六百九十七点が出品され、来場者の目を釘付け。視聴覚室では、



リサイクル広場訪れる母親たち(写真上)



巧みに操られる人形に引き込まれる子どもたち(写真上)
操り人形にふれ、その仕組みを体験する子どもたち(写真左)



四日間ミニシアターで、子どもから大人まで楽しめるアニメや映画が上映され、普段見ることのできない大型スクリーンで、迫力ある映像を楽しんでいた。

五日には、人形劇団ガウチョスによる操り人形「こまめちゃん」が公演され、操り人形を動かす体験サービスもあり、子どもたちは人形劇を身近に感じていた。

また、リサイクル広場(四・五日)では、家庭で不要となった子供服やおもちゃや三百点が寄せられ、多くの母親などの町民が訪れ、わが子に合う服を探し当てるなど、そのほとんどが提供された。



ピザがぼちゃだんごづくり

書室では五日「本」を利用して「やってみよう」が開催され、小学四年生以下の幼児児童二十四名が、

ダッチオーブンによるピザづくりに挑戦。子どもたちは、屋外で炭をおこし、ピザ生地を伸ばし、お好みの具材を載せ、鉄製の鍋でコンガリとピザを焼き上げ、その味に「おいしいね」と笑顔がこぼれていた。

また、同日調理室では、カンガルスクールも行われ、十二組の親子が、「かぼちゃ団子づくり」を行った。エプロン姿の子どもたちが、丸や三角、ハートなど思い思いの形づくりで、親子がふれあ

い、昔懐かしいカボチャ団子の味を楽しんだ。

このフェスティバルは、今年で三年目。見る文化展から、楽しむ文化展へ転換し、来場者も年々増加。楽しい企画満載であった。



華やかに舞台発表



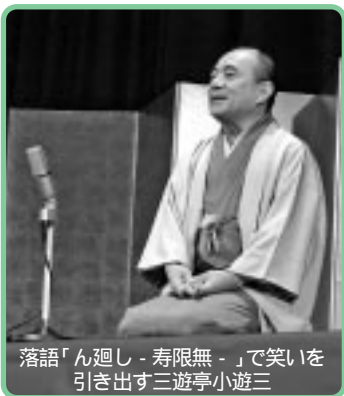
ブレイクダンスを交えるなど軽やかなステップで観衆を魅了した古小2年生

寄席芸能公演

落語に！マジックに！曲芸に！

十一月十一日町公民館で、本物の無体芸術体験事業「寄席芸能公演」が行われ、町内小学生(五・六年)、中学生、高校生のほか高齢者など四百名が会場を訪れ、「笑点」でお馴染みの三遊亭小遊三など八名の本場の落語や曲芸を楽しんだ。

寄席は、ま



落語「ん廻し・寿限無」で笑いを引き出す三遊亭小遊三

十一月十二日公民館フェスティバル舞台部門発表が公民館で行われ、八団体百二十一名が華麗なステップや華やかな演奏を披露。会場には、満席となるほどの観客が訪れ、その舞台を楽しんだ。

出演したのは、大正琴苦前町同好会、苦前鱗琴会、クリスタルコーラス、苦前民謡千鳥会、くま獅子少年団、古丹別カラオケ愛好会のほか、古小2年生によるヒップホップダンスや苦中・古中吹奏楽合同バンドも出演し、舞台を盛り上げた。

会場には、我が子の舞台を一目見ようと、父兄の姿も多く見られ、曲に合わせて手拍子 que 起きるなど、楽しい舞台となった。

「初天神」(三遊亭遊喜)が披露され、真打である三遊亭小遊三が登場すると、会場からは大きな拍手とともに、笑いが絶えることなく盛り上がった。

トモオマナイ杯三バレー大会

管内17チーム参加

十月三十日スポーツセンターでトモオマナイ杯三バレー大会(町三バレーボール協会主催)金子利行会長)が開催され、町内五チームを含む管内十七チ



プレーを楽しむ選手たち

ーム(八十五名)が参加。四ブロックに分かれ予選が行われ、上位二チーム(一部)と三位・四位チーム(二部)の二つの決勝トーナメントで順位を競った。競技は、和気あいあいとしたプレーの中にも、強烈なスパイクに対し、鉄壁なブロックで応酬するなど、好プレー・珍プレーが随所に見られ、参加者は丸一日三バレーを楽しんだ。大会結果は、一部で「勇気」(天塩町)、二部で「リスペクト」(留萌)の二チームが優勝し、苫前町出場チームでは、楽友会Aが二部で三位に入賞を果たした。

まちづくり特別講座

市町村合併と基礎的自治体のゆくえを学習



11月5日役場会議室において「まちづくり特別講座」が開催され、町議会議員や町職員、各種計画策定委員など60名が参加。合併新法の受け止め方や基礎的自治体のあり方と小規模町村の今後について、国や道の情勢、方向性を学んだ。

講師には、北海道市町村合併推進審議会委員を務める関西学院大学の小西砂千夫教授。

本町での講演は四回目で、苫前町の財政状況も分析済み。講演では、道合併推進審議会の審議状況や方向性について、国の地方制度調査会での西尾私案を関連づけて説明。「5年後の合併新法終了以降は、先行き不透明。議論できるところは、広域連携も含め議論しましょう」と情勢を見極め、議論を重ねることの重要性を伝えていた。

しなやかに 日本舞踊体験



日本舞踊を体験する子どもたち

文化体験プログラム支援事業第二弾として、十月十八日から十一月十七日までの六日間、日本舞踊教室が開催された。

この教室は、花柳金花会会主の花柳金栄さん(札幌)を講師に、小学一年生以下六名が参加。子どもたちは、各自浴衣や着物、帯などを持ち寄り、着付けの仕方から指導され、踊りでは「さくらさくら」という曲に、ゆつくりとしたしなやかな動きで舞踊を体験した。踊りの中では、互いに見つめあう子どもたちから、思わず笑みがこぼれながらも、日本の伝統文化に触れるとともに、和服姿を楽しんだ。また、練習終了後には、和服などのたたみ方や挨拶などの礼儀作法も指導され、子どもたちが大人びて見えた。

冬期間除雪委託業者決定 除雪作業にご協力を!

冬を快適に過ごすため百七十一路線(九六キロ)の生活路線や公共施設、産業道路の除雪を実施しますので、次の点にご注意いただき、ご協力願います。

早朝から除雪を開始し、午前七時完了予定ですが、大雪や吹雪で遅れることもあります。

原則、緊急時以外は午後七時以降の除雪は行いません。ただし、急病患者など緊急を要するときは、役場建設課又は道路維持管理事業協同組合へ連絡願います。

路上駐車や公共施設駐車場への夜間駐車は、除雪作業の妨げとなりますので、車庫等へ移動願います。今年から、町が指定している場所以外の民地の空き地の雪は、除雪しませんので、皆様のご理解をお願いします。

ただし、排雪時に道路へ出された雪は、排雪いたしません。除雪や排雪時に支障となる箇所へはポール等の目印を設置願います。

除雪期間は、翌年二月二十五日まで。委託される除雪業者は次のとおりです。

昭和・旭地区	山本建設工業(株)	65・3141	山本建設工業(株)
山本建設工業(株)	65・3141	橋場建設工業(株)	
旭・四線沢地区	古丹別地区	65・3236	
(有)大川商店	渡部工業(株)	65・3055	
苫前地区	小川・岩見・東川地区	65・3304	
千葉建設(有)	林商会	65・3304	
港・三豊地区	小川地区	65・3304	
千葉建設(有)	苫前運輸(株)	65・3923	
北香川・上平・力昼地区	三溪地区	65・3923	
(有)北進産業	シーテック工業(株)苫前支店	65・3702	
幹線道路(旧直営路線)			

除排雪のお問い合わせは

苫前道路維持管理事業協同組合	65-3055
苫前町役場 建設課 管理係	64-2315

健康ばんざい

「気をつけよう！結核」

今月の担当は佐藤保健師です。

かつて「国民病」と呼ばれた結核も医療や生活水準の向上で、きちんと治療をすれば完治する時代になりました。

しかし、結核は今も日本最大の感染症であり、年間三千人におよぶ人が結核で亡くなっています。

結核は決して過去の病気ではありません。

結核はどんな病気？

結核は、飛沫感染（空気感染）します。結核患者が、せきやくしゃみをする時、結核菌が空気中に漂い、これを吸い込むことで感染します。

結核の症状は？

せき、たん、発熱、血痰、胸痛、だるさ、体重減少

結核の症状は、かぜにとてもよく似ています。かぜが流行してくる時期ですが、かぜと違って、かぜが重症となることもあります。

せきが二週間以上続いたら、結核を疑いましょう。

発病しやすいのはこんな人

高齢者
過去に、結核に感染した可能性が高いことに加え、体力が低下し免疫力が落ちやすい。



乳幼児

免疫力の働きが未熟なため、感染しやすい。髄膜炎などの危険な状態になる可能性も。

糖尿病などの慢性疾患を持つ人

免疫力が低下している人、糖尿病などの慢性疾患を持つ人、薬の副作用などで免疫力が低下している人は、リスクが高い。

【結核予防のポイント】

- 一、二週間以上のせきが続いたら早めの受診を。
- 二、一年に一回胸部X線検査を受けよう。
- 三、乳幼児の予防接種（BCG）は必ず受けよう。
- 四、栄養バランスのとれた食生活。
- 五、禁煙しよう。
- 六、疲労を避け、ストレス解消を。

結核予防健診を受けましょう。

結核が発病しやすいとされる高齢者に、重点的に健診を実施するため、結核予防法が改正され、今年度から対象年齢が変更されました。

対象年齢 六十五歳以上

町では、平成十八年二月二日から三日に、結核予防健診を行います。なお、今年度は、これが最後の健診となります。

症状がなくても年に1回は、健診を受けることが大切です。

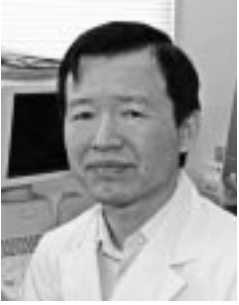
まだ、結核予防健診を受けていない方は、この機会に受診しましょう。

詳しくは、後日回覧致しますので、ご覧ください。

+ Dr.小野の処方せん

インフルエンザ

インフルエンザは、38度以上の発熱、頭痛、関節痛、筋肉痛などの全身症状に加え、感冒症状の咽頭痛、鼻汁、咳症状などを伴います。さらに気管支炎、肺炎、小児では中耳炎、熱性けいれんなどを合併し、重症化しやすいウイルス感染症です。



世界で、広く流行しているのは、Aノソ連型ウイルス（H1N1亜型）、Aノ香港型ウイルス（H3N2亜型）、B型ウイルスの3種類ですが、症状や治療、予防法には大きな違いはありません。

空気が乾燥すると喉の粘膜の防御機能が低下するので、室内では加湿器などを使って適度な湿度に保つと良いです。十分な休養をとり、体力や免疫力を高め、バランスよく栄養を取ることが大切です。また、外出時のうがい、手洗い、マスク着用も感染予防に効果があります。

インフルエンザワクチンは、接種後2週間後から約5か月その効果が持続し、健康被害を最小限にとどめることが期待できます。発症48時間以内では、抗ウイルス薬が症状の軽減に有効です。発症後3～7日間はウイルスを排出し、解熱後2日間までは出度停止期間となっています。

苫前クリニック院長 小野 哲郎

お待たせしました！ 8年の眠りから目覚めた

牝熊

12月17日(土)
開場18:00 開演18:30
会場 苫前町公民館



劇団「井の中のカワズたち」

第六回公演決定

平成九年の「芽生え」を最後に、活動を休止していた劇団「井の中のカワズたち」が、昨年十二月から活動を再開し、今年十七日に六回目となる公演を決定した。

演劇は、平成四年結成し、初公演となった「牝熊」を再び再現する。内容は、東北の山奥に、身一つで生き抜く人々の、素朴で人情あふれる昭和の恋愛物語である。また、山男と娘たちの掛け合いで、笑いもあり心温まるストーリー。

前回出演した七名の円熟された演技と、新たに加わった五名の清々しさで、違った「牝熊」が見れそう。入場料無料。是非、見に来て下さい。

みんなで築く

すこやかライフ

豊かな老後

進む高齢化、高齢化比率33.6%
地域ぐるみで健康づくりを!!

(別表1) 苫前町の高齢化の推移

(国勢調査時)

年 度	総人口	65才以上人口	比 率 /
S55	6,528人	855人	13.1%
S60	5,748人	897人	15.6%
H 7	4,868人	1,209人	24.8%
H12	4,645人	1,319人	28.4%
H17	4,115人	1,383人	33.6%

H17年数値は、10月31日現在住民基本台帳より

(別表2) 1人当たり老人医療費の推移

(老人医療受給者分)

年 度	1人当たり医療費 (円)	対前年度伸び率 (%)
H12	763,785	7.2
H13	810,630	6.1
H14	751,856	7.3
H15	774,245	3.0
H16	825,067	6.6

H16年度の数値については、概数値

わが国の平均寿命は、医療技術の飛躍的進歩により年々伸び続けています。
苫前町の高齢化の状況は(別表1)、昭和五十五年には十三一割であった高齢化比率も、平成十七年十月末には三十三・六割と、急速に高齢化が進んでいます。
また、急激な高齢化とともに本町一人当たりの老人医療費は過去五年間、老人医療費制度の改正や介護保険導入、老人医療費一割負担によってばらつきが見られませんが、平成十四年の平均医療費から、年々増加傾向にあります。
また、成人一人当たりの医療費約二十六万円と比較しても、高い水準を推移しています。

今後、医療費の抑制を図るためには、まず高齢者皆様の健康増進が大変重要な課題となります。
このことから高齢者本人は勿論のことですが、家族、地域ぐるみで生きがい・健康づくりに取り組み、疾病の予防及び早期発見、早期治療、重複・多受診の防止を図ることで、在宅ケアなどの推進に努めるよう日頃から心がけましょう!



介護保険・福祉Q&A

Q 介護保険料や利用料は、確定申告の際に所得控除されると聞きましたが、それはどんなことですか?



お問い合わせ先
苫前町役場町民課しあわせ係
TEL 0164-64-2215(内線273)まで

所得控除について

A

(1) 医療費控除

介護保険制度で提供されるサービスのうち医療費控除対象となるものは、次のとおりです。

指定介護老人福祉施設サービス費(介護費及び食費)に係る自己負担額として支払った額の2分の1(制度以前より利用されていた方は対象外)介護老人保健施設、指定介護療養型医療施設の施設サービス費は従来より医療費控除の対象。

居宅サービス計画にもとづき、医療系サービス(訪問看護等)と合わせて利用する訪問介護、通所介護、短期入所生活介護等に係る自己負担額。医療系サービスは従来から医療費控除の対象。

おむつ代

(2) 社会保険料控除

介護保険料は、社会保険料控除の対象となっている保険料です。

12月 社会教育からのお知らせ



苫前町子どもかるた大会

冬期間の室内スポーツとも言われる百人一首。
上位4チームは中部3町村子ども会かるた大会への出場資格を得ることが出来ます。
(1月中旬に羽幌町で開催予定)

日時 1月8日(日) 午前9時から
場所 苫前町公民館
部門 小学生の部・中学生の部
参加料 無料

3人一組で、熱く燃え上がってみませんか!

本とあそぼう 『クッキーデコレーション』



図書室ではみなさんにいろいろな本と接してもらえるような機会を考えています。
図書室の担当者・ボランティアのおばちゃんたちと楽しく遊んでみませんか?
今回はクッキーにチョコレートなどでいろいろな飾りをつけて、おいしいおいしい自分だけのお菓子を作ってみましょう。親子で揃って参加してくださいね。
※「本とあそぼう」は今後も月に1回ずつ(第3水曜日)開催予定です。

日時 12月21日(水) 10:00~11:30
場所 苫前町福祉センター
持ち物 エプロン(汚れてもよい服装)
参加費 無料



町内のスキー場がオープンします!

苫前三角点スキー場・古丹別緑ヶ丘スキー場

開設期間 平成18年1月5日(木)~平成18年2月27日(月)
定休日 毎週 火・木曜日(冬休み期間は火曜日のみ定休日)
リフト運行



1月5日~1月16日		1月18日~2月27日	
平日	13:00~20:45	平日	18:30~20:45
土曜祝日	13:00~20:45	土曜祝日	13:00~20:45
日曜日	13:00~15:45	日曜日	13:00~15:45

ロッジは、リフト運行終了後15分間使用できます。
16:45~18:30の時間帯はメンテナンスのためリフト・ロッジとも休止させていただきます。

リフト料金

利用券区分	1日券	シーズン券
小・中学生	100円	500円
高校生	200円	1,000円
一般	310円	2,030円

スキー置き場に個人のスキーを置くことはできませんが、破損、紛失等については一切責任を負いません。(スキー靴はお持ち帰り下さい。)
開設期間、リフト運行時間等は積雪や天候の状況により変更する場合があります。

~あなたの学びたいを応援します~

ご相談・お問い合わせは 苫前町公民館

でんわ 65-4076

e-mail syakaikyoiku@town.tomamae.lg.jp
HPアドレス http://www.town.tomamae.lg.jp/

スマイル 住まいる情報 Information

平成17年度 自衛隊生徒募集

応募資格：中卒(見込含)の15歳以上
17歳未満の男子
締め切り：平成18年1月10日(火)
試験期日：平成18年1月14日(土)
(一次試験)
試験種目：筆記試験
(国、数、社、理、英、作文)
待遇：給与152,300円/月(1年目)
手当期末勤勉手当年2回
年間4.4か月分
生徒教育3年終了時に高等学校
卒業資格取得

問い合わせ先
苫前町役場総務財政課 64-2211
自衛隊旭川地方連絡部留萌募集事務所
0164-42-4650

クーリング・オフを知っていますか？

突然訪問してきた販売員などに勧誘を受け、意思が定まらないうちに契約してしまうことがあります。

クーリング・オフとは、訪問販売やキャッチセールスなどの特定の取引の場合に、一定の期間ならば自由に契約を解除できる制度です。

《クーリング・オフの方法》

契約書を受け取った日から8日以内に書面(ハガキ等)で業者に解約通知する。(解約できる期間は、契約内容によって異なります)
書面はコピーし、控えとして保管(ハガキの場合は両面をコピーする)。



書面の詳しい書き方などクーリング・オフについては、役場企画振興課商工観光係まで、お問合せ下さい。

書面は「配達記録」か「簡易書留」で送る。

クレジット契約をしている場合は、クレジット会社へクーリング・オフしたことを連絡する。
支払ったお金は全額返金されます。

ご厚志に感謝します

町社会福祉協議会への寄付
苫前 佐々木 歌子 様
苫前 内田 亮人 様
各町内会等への寄付
(上平昼町内会へ)
上平 伊勢 由美子 様
(港町内会へ)
苫前 佐々木 歌子 様

戸籍の小箱

未長くお幸せに

氏名(夫) 住所 氏名(妻) 住所
天谷 英樹(苫前) 三原 聡美(苫前)

納税の納期内納入にご協力願います。

12月 町税の納期

今月は、
国民健康保険税
介護保険料
の納入月です。

法人道民税・事業税の申告は インターネットで！

北海道では、平成十八年一月より地方税ポータルシステム(エルタックス)を利用し、インターネットによる法人道民税・法人事業税の申告受付を開始します。

利用できるのは、北海道に申告を行う納税者(税理士等代理人を含む)で、利用届出の手続きをされている方です。
利用開始の方法等、詳細につきましては、エルタックスホームページをご覧ください。
<http://www.etax.jp>

北海道ホームページ
<http://www.pref.hokkaido.jp>
<http://soumu/sm-zeimu/>



ご成長を

お祈り申し上げます

氏名	父・母	出生日	住所
後藤 大和(長男)	博/善	10月12日	古丹別
清水のどか(三女)	徹/あすか	10月25日	古丹別
宮本 瑞妃(三女)	壽/優季	11月9日	古丹別

慎んでお悔み 申し上げます

氏名	年齢	死亡日	住所
開発 悟(72歳)		10月17日	九重
畑中 テル(79歳)		10月27日	力昼

飲酒運転の追放を！

年末年始は、飲酒の機会が増え、飲酒運転による交通事故の増加も心配されます。
「ちよつとしか飲んでいないから」、「すぐ近くだから」と安易な飲酒運転をすると厳しい処罰も受け、一生後悔することになります。

地域、職場、家庭で「きつぱりやめよう飲酒運転」を合言葉に、私たちの住む北海道から飲酒運転を追放しよう。
北海道警察羽幌警察署

苫前町の交通事故情報

平成17年10月末現在

発生件数	死者数	負傷者数
8件	0人	10人

交通事故死ゼロ日数は

10月31日現在で548日



藍の会「タペストリー・十二支」
出品者 賀川 さなえ



「豆を使った壁掛け」
出品者
旭地区脳刺激訓練教室の皆さん



ビーズ細工「犬とアヒル」
出品者 加藤 美代子



苫前町菊花会
「懸崖・文人づくり」
出品者 合田 義春



友好町長島町公民館
アートフラワー講座「ハマナス」
出品者 渡辺栄子・堀志保子
長瀬雪江・波岡八重子・堀芳子



樹脂粘土の会
樹脂粘土細工「春の花かご」
出品者 佐武 真利子



絵画教室ぱれっと「夕映えの組曲」
出品者 福井 美佐子



「絵手紙」
出品者 成人学級絵手紙教室の皆さん

今月は特別企画『町民ギャラリー』を掲載致します。公民館フェスティバル展示部門作品の中から、その一部をご紹介します。新春号は『ちびっ子ギャラリー』古丹別中学校生徒の作品を紹介します。

風力発電の売電状況
(町営分)

17年の実績(1月~10月分)
37,420,655円

平成17年10月分の実績

- ・供給電力量
413,960kWh
- 5,194,163円
- (設備利用率27.04%)

早い今年もあと十二月を残すのみとなりました。皆様にとつて今年は何年であったのでしょうか。昨年の災害から見れば、今年は一転し、落ち着いた年ともいえます。その中であって、今年現役戦隊ヤルンジャーの活動が、ひときわ目に付きました。高齢者が元気になれば、町も元気になる。そんな合言葉に、バイクの日喫茶開業や町内視察、学校・病院訪問など、次々と活動を展開。十一月には、札幌研修も行われ、道議会や防災センターなど道の主要機関も見学している。今年、まず町内の暮らしを知ることがテーマに展開してきたが、来年は更なる活動が楽しみ…。まずは、自ら楽しむことが基本にあり、来年も注目を集めよう。

〜 良いお年をお迎え下さい。〜

編集 雑記 帳